

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会

「第3回保育園・学校部会」 会議録

日時 平成29年9月22日 午後5時

場所 地域交流センター 第3・4研修室

出席委員 市川祥介(麻績村教育委員) 小山正文(麻績村教育委員)
高坂 徹(筑北中学校長) 清沢 剛(筑北中学校教頭)
宮下智恵美(筑北中学校教務主任) 福田弘彦(麻績小学校長)
北條泰瑞(麻績小学校教頭) 臼井孝夫(麻績保育園長)
刈間伸一(麻績小学校PTA会長) 小山芳道(筑北中学校PTA会長)
欠席委員 宮川裕満(学校組合教育委員) 鳥海 康(麻績小学校教務主任)
教育委員会事務局 臼井太津男(教育次長) 尾和正行(主事)

1 開会

教育次長：それでは、定刻となりましたので、これから第3回保育園・学校部会を始めさせていただきます。また、この部会につきましても、傍聴可能となっておりますので、ご理解いただければと思います。それでは、部会長あいさつをお願いいたします。

2 部会長あいさつ

部会長：あらためまして皆さんこんにちは。先日の小学校の運動会は子ども一人ひとりに目を配ったものでした。お疲れ様でした。保育園は運動会、中学校は文化祭の準備とお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本日の会議の内容はレジュメのとおりであります。なんでも自由にご意見を出していただいて子どもたちにとってより良い方向を作り出していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

3. 協議事項

教育次長：それでは、協議事項に入りたいと思います。協議については部会長に進行をお願いいたします。

(1) 前回の部会の再確認

- ・ 前回の部会の議事録確認について
- ・ 一貫教育についての再確認→メリットの最大化とデメリットの最小化
- ・ 今後のスケジュールについて→今年度の部会の進み方
 - ①一貫教育を検討する項目について
 - ②保小中三校連絡会について
- ・ 麻績村として目指すべき「子ども像」

部会長：それでは、前回の部会の再確認ということで事務局から説明をお願いします。

教育次長：お願いいたします。まず始めに今回の会議資料について確認をさせていただきます(配布資料について説明)。

部会長：まずは、会議資料について説明をしていただきました。前回までにお配りされた資料もこれからの会議に必要なと思いますので、ご持参いただきますようお願いいたします。会議資料について記載された資料がありますので、前回までに配布された資料についてもこちらで確認していただきたいと思います。それでは、前回の部会の議事録確認について事務局からお願いします。

教育次長：議事録に関しまして、委員の皆様にお配りしてございます。目を通していただいて、問題があるようでしたらこの場でお示ししていただければと思います。この議事録につきましては、今後ホームページで公開していく予定になりますので、今後も次の会議までに議事録をお配りいたしますので、ご確認いただいて次の会議の時に確認したいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

部会長：十分にご確認いただいて、ご自身の発言の意味が違うことがあれば遠慮なく事務局にご指摘いただきたいと思います。それでは、議事

録については、そのような扱いでいくということですが、よろしいでしょうか。

全 員：(了承)

部 会 長：ありがとうございます。それでは、続いて一貫教育についての再確認、メリットの最大化とデメリットの最小化についての説明を事務局お願いします。

教育次長：前回の議題で扱いましたメリットの最大化とデメリットの最小化について皆様からいただいたご意見をまとめさせていただきました。メリットの最大化につきましては、今すでに小規模校のメリットについては行われているという意見が多く、デメリットにつきましては、人間関係の固定化が中学校でも同じになるので、その改善が課題であるという意見が出ました。

部 会 長：よろしいでしょうか。それでは、今後のスケジュールについてと今年度の部会の進み方について事務局お願いします。

教育次長：こちらにつきましては、中学校の校長先生に作っていただいたカラーの資料をご覧いただきたいと思います。タイムスケジュールの(案)ということで今回は分担や項目について確認をしていただいて、原案どおりで概ね良いのではないかとということでご確認いただきました。

②保小中三校連絡会についてということで前回協議していただいて、従来の三校連絡会の枠組みを変えた一貫教育を結び付ける中で保育園、小学校、中学校での新たな三校連絡会を開催するというところで協議していただきまして、講師の先生との日程調整をする中で前回お示しした日程とは変更しておりますが、10月の開催で三校連絡会の協議していただきました。

部 会 長：これにつきましては、(2)の方で協議を行いますので、ここでは前回の確認をするだけといたします。それでは、麻績村として目指すべき「子ども像」について事務局お願いします。

教育次長：こちらにつきましては、前回の会議で出た意見をまとめたものを資料として用意させていただきました(資料に沿って説明)。今お示したもので内容が違うところがございましたら、ご指摘いただきたいと思います。

部会長：この件について、目指すべき「子ども像」の説明をいただきましたが、意味が誤解されているようなところがあればご指摘いただきたいと思います。

全 員：(なし)

部会長：よろしいでしょうか。委員の皆さんからご意見いただけますか。

委 員：最終答申の中よりの麻績村の目指すべき子ども像を見させていただいて、村として目指す子ども像があって、それで保小中や地域も含めて連携してできることを考えて、村として目指す子ども像の肉付けをしてはっきりしたものにしていくと、子どもに願う姿というのが見えてくると感じました。

部会長：村の振興計画はある訳ですが、教育委員会の最終答申や学校のそれぞれの委員の皆さんや地域の皆さんの考えを出し合いながら、村の振興計画に絡み合っていくという形になっていくと良いと思いますが、その他にご意見いただけますか。

委 員：麻績村の目指す子ども像ということで、まとめていただいた資料を見させていただいて、自分の子どもを見ていて思ったことなのですが、小学校から中学校へ繋がる中で「自分を大事にし、友達を大事にする」ということを麻績の子どもたちは素晴らしいものを持っていると感じています。もう 1 つ、思っていること麻績村は人数が少なく、中学校も生徒数が非常に少なくなっていますが、ここでは保育園から小学校、中学校というところで話をしておりますが、そこから高校に繋がっていくと思います。高校生になる時に初めて麻績の子は麻績の地域から外に出ることになるので、その時に新しい世

界に出た時にカルチャーショックを受けると思います。その時に、力が発揮できるような育て方をどうしたらいいのかと自分なりに考えているところです。そのようなところも部会の中で話をさせていただいて掴めていければと思っております。

部会長: 大事な点をご指摘いただきました。その他にご意見いただけますか。

委員: 概ね最終答申の中に思いが入っておりまして、私としては自分の夢を持ってそれに向かって進んでもらうことが1番だと思います。ただ、最終的には麻績村を愛して最後は帰ってきてくれるような子になってほしいという気持ちは強いです。

部会長: ありがとうございます。その他にご意見いただけますか。

委員: やがて巣立っていく時に生きていけるような方向性を目指していければと思います。少子化の中、きめの細かい教育がされていますが、外に出ていく時にうまく橋渡しができるようにできればと思います。

部会長: 故郷に寄せる想い、そして自立。自分の力で生きていけるということに焦点があるように感じます。学校のグランドデザインや村の振興計画の中にも「遅しい」という言葉があります。その他にご意見ございますか。

委員: 私たち学校職員は子どもたちと接している訳ですが、子ども像を村の外も含めた中で考えてしまいますが、どんな子どもたちを育ててほしいのかということも多くの方から意見をいただくと職員の向きも分かるので、もっと多くの要望をお聞きしたいと思いました。

部会長: その他にご意見ございますか。

委員: 内容をお聞きしておりますと、強く・遅しくといった思いがひしひしと伝わってきましたが、保育園の立場としましては、準備に入る前のベースづくりを大事にしていきたいと考えておりますので、

「思いやり」や「感謝の気持ち」といったところを大事して、今の子ども像というところに繋げていければと考えております。心豊かで逞しく育ててほしいと感じました。

部会長:「心豊かで逞しい」という一言にまとめていただきました。また、子ども像を定める中で具体的な意見をもっと多く聞きたいという学校側からの意見もありました。それでは、本日はここまでにして今後とも時間を見て検討していければと思います。それでは、以上で(1)を閉じたいと思います。それでは、(2)今後のスケジュールに移ります。

(2) 今後のスケジュールについて

- ・「保小中一貫教育連絡会」の開催について
- ・検討委員会（部会）の情報公開と、保護者等地域の声の把握について

部会長:それでは、今後のスケジュールについて事務局お願いします。

教育次長:お願いします。保小中三校連絡会について前回は協議していただいて、今回この部分について別紙に開催通知を資料として用意させていただきましたので、説明させていただきます(以下、資料に沿って説明)。連絡会の中で分散会を予定しておりますが、保小中で行っていることの摺り合わせがこの時間の主だった内容になると思います。その時に麻績村保・小・中一貫教育資料をお持ちいただければと思います(以下、資料に沿って説明)。分散会につきましては、細かな話し合いがされると思いますので、一般公開は無しで行いたいと考えております。保小中一貫教育連絡会についての通知で問題が無ければ、これをもって確定通知にさせていただきたいと思いますので、ご協議いただければと思います。

部会長:ありがとうございました。前回、ご提案いただいて、三校連絡会の当番校の麻績小学校で計画を立てていただいた訳でございます。保育園・小学校・中学校だけのことでもないので、そういったことから主催者を教育委員会と保育園・学校部会に代えさせていただいて、日時についても10月13日から10月12日に変更させていただいて

おります。内容としては通知のとおりですが、一般公開を講演会までにしたいということでしたが、このことについてご意見いただけますか。

委員：分散会での意見は、全ての意見が良い方向に繋がるとは限りませんが、そのことが大事であり、検討させていただくためには忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、それが公開となってしまうと意識してしまって自由な意見が出てこなくなってしまう可能性もありますので、非公開にさせていただいて、それぞれの立場から色々な発言をしていただく場にしていただけるとありがたいと思えます。

部長：その他にご意見いただけますか。

委員：今やっていることの摺り合わせで事務的な部分なので公開でも問題ありません。

部長：その他にご意見いただけますか。

委員：参集範囲について考えていたのですが、保護者の方にも入っていただいた方が良いとは思いますが、今回は初めてになりますので、もう少し落ち着いてからの参集でも良い気もしております。スタートとしては、今決まっている内容で始めてもらうということで良いと思います。

部長：私も保護者の方の意見もお聞きしたいという思いはあるのですが、分散会で個人情報が多く出る場合もありますし、それが誤解を招く場合もあります。そうかと言って伏せての発言になると自由な発言をしづらくなりますので、私個人としては原案に賛成であります。講演会までについては、館報や無線、ホームページを使ってお伝えしていきたいと考えています。その他にご意見ございますか。

委員：スケジュール表を見ていただきたいと思えます。7つの分散会を大きく考えておきまして、PTA 活動やコミュニティスクールについては

今回分散会は無しで、それぞれ違う分散会に入っただけだと思います。保育園については「読書指導」や「健康教育」に入っただけだと思います。他のところでは難しい部分がありますので、保育園と小学校が主になると思います。司会者はスケジュールにあるとおりで、進行については先ほど次長さんに出していただいた麻績村保・小・中一貫教育資料を使いますが、実際には各年で分けることはあまりなく、もっと大きな枠で分けることが多いと思います。この枠に捉われずに考えていただきたいと思います。個々に行っていることも大事ですが、【9年間(12年間)を通して育てたい力】ということも大事ですので、分散会ではこういった力をつけたのかを話し合っほしいと思います。この資料には今やっていることを書き出してもらう訳ですが、「こういうこともできるといいね」ということを出していただくとその後の話し合いの場で検討もできますので、進行役の先生方は構想を練ってもらって皆さんから色々な意見を出してもらえればいいと思います。

部会長: ありがとうございます。PTA会長さんや教育委員の皆さん、園長先生はどこの分散会が良いかを次長さんの方にお伝えしていただくということでよろしいでしょうか。

教育次長: 小学校と中学校、そして他の方の希望を取りまとめて、小学校と会場も含めて調整したいと思います。

部会長: そのようなことでよろしいでしょうか。もし、微調整する必要があるれば、次長の方で取りまとめたものを校長先生の方に確認していただきたいと思います。それでは、PTA会長さんや園長先生、教育委員の皆さんは次長の方に希望を出していただきたいと思います。

委員: 補足ですが、連絡会について参集範囲は記載のとおりですが、他の部会の方についても通知をお出しして講話を聴いていただきたいと思います。他の部会の方から分散会の希望があれば、それについてもお聞きしたいと考えておりますので、お願いいたします。

部会長: よろしいでしょうか。

全 員：(了承)

部 会 長：それでは、10月12日の連絡会についてはそのようにしたいと思います。

それでは、検討委員会（部会）の情報公開と、保護者等地域の声の把握についてに移ります。このことについては皆さんから自由にご意見をいただきたいと思います。ご意見いただけますか。

委 員：保護者の立場としての意見になりますが、今後は麻績小学校を卒業した児童だけが筑北中学校に進学するわけですが、小学校の保護者の中に一貫教育に関心を持っている方は多くいますが、あまり内容を知らないので不安になっている方もいます。運動会の後に話をする機会があったのですが、「講習会みたいなものを開くのもいいのではないか。」という意見もありました。私も、こういった声をどうやって集めるのか、この会議の内容も村民全体に知らせるということも大事じゃないかと思っています。公開していき、その中で意見をいただけると良いと思います。講演会に関しては、学校の先生方にご相談をして連絡を取りながら行えればと思っています。講演会をぜひ行いたいという意見も出ておりますので、意見が出ているうちに有意義な講演会ができればと考えています。

部 会 長：情報公開に関しては、館報、無線、ホームページと徐々に行っていくわけですが、その他に良い情報公開の方法がありましたら教えていただければと思います。もう1点は、私たちがどうやって保護者の意見を吸い上げるかというのが課題になります。

委 員：情報公開におけるホームページの公開というのは、麻績村のホームページに掲載していくということですか。

委 員：麻績村のホームページに位置づける予定です。毎月の経過を載せるために館報に2段位のスペースで情報公開していくつもりです。

委 員：麻績村のホームページの活用状況はどのくらいでしょうか。

委員：他市町村と比べても少ないと思います。

委員：麻績村のホームページを活用してもらうためにも、ホームページに掲載するだけではなくて、村民が身近に麻績村のホームページを開けるような形にしていかないと、なかなか見てもらえないんじゃないかと思っています。

部長：大事なお指摘をいただきました。可能であれば、館報の掲載スペースに「ここを開けば詳しい情報を知ることができます」のような方法も良いのではないかと思います。その他にご意見いただけますか。

委員：今の情報公開の話ですが、知りたい方は調べようと思います。調べないで「私はそんなこと知らなかった」ということが一番困ると思います。これから、保育園、小学校ぐらいの子育て世代の方には、「検討委員会をやってこういうようになっています。」ということをも月 1 位でも学校等からプリントで知らせるような方法で知らせた方が良くと思います。

部長：教育委員会と保育園、学校で検討していただければと思います。もう 1 点、保護者の意見を吸い上げるということで何かご意見いただけますか。

委員：学校に PTA の評議員会等で集まるのが年に 3 回程度しかありませんので、後は学年ごとにお任せしていることが多いので、保護者の皆さんが集まるという機会は少ないです。

部長：学校としては、何かお考えありますか。

委員：PTA の評議員会以外となりますと参観日ぐらいが考えられるかと思っています。

部長：園長先生、保育園では何かお考えありますか。

委員：保護者会のような集まる機会はあまりありませんし、プリントでのやり取りが多いので、意見のある方は直接私の方へ来る方もいらっしゃいますが個人の意見の把握という部分で、全体ということはなかなかありません。

部長：この場で検討をとということも難しいので、それぞれの立場で検討していただければと思います。また、良いお考えがありましたらお願いいたします。その他によろしいでしょうか。それでは、ICT活用教育についてに移ります。

(3) ICT活用教育について

文科省委託事業「ICT活用教育アドバイザー派遣事業」の採択について
11月～1月の間の実施予定。10月下旬にアドバイザー現地確認予定
派遣アドバイザー → 新潟大学 教育・学生支援機構 後藤准教授

教育次長：それでは、ICT活用教育について私の方から説明させていただきます(資料に沿って説明)。

部長：ご意見ございますか。よろしいでしょうか。これから具体的に進んでいく訳ですが、こういったことで進んでいくということをお皆さんに了解いただいたということをお願いいたします。それでは、これを受けて事務局からお願いします。

教育次長：前回の会議でも、先進地の視察という話が出ておりました、保小中一貫教育連絡会の講演の中の佐倉教育主幹の話の中で一貫校の先進地ということで野沢温泉の話が出るのではないかと考えております。前回の会議資料で野沢温泉についての資料も出させていただいておりますが、ICT活用教育事業を受けて、ICTの活用についても同時に動いていかないといけない部分と麻績村で進めているテレワーク事業がありますが、それを合わせた事業で実際に行っているところがありまして、王滝村の資料を付けさせていただいております(以下、資料に沿って説明)。麻績村のテレワークセンターはこれからできてくる場所ですので、使い方についてもこれからという部分がありますが、学校と連携することも可能じゃないかと考えております。

先進地の視察ということで一貫教育として野沢温泉、ICTの関係で王滝村をお示しさせていただきました。

部会長：ありがとうございました。何かご質問等ございますか。前回お示しした一貫教育の部分と今回広く交流するという意味合いでICT関係をお示ししていただきましたが、この2つの案について次回の分散会後の部会で方向を決めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

全 員：(了承)

部会長：それでは、次回までにお考えいただければと思います。

教育次長：ICTについてお示ししていただきましたが、あくまでもICT教育の中の1つの検討材料ということですので、お願いできればと思います。

部会長：それでは、その他全体を通して何かございますか。よろしいでしょうか。それでは、次回の開催日程に移ります。

4 次回開催日程

平成29年11月9日(木) 午後 5時00分 ~

部会長：それでは、最後に教育長さん一言お願いできますか。

教育長：有意義なご協議をしていただいて本当にありがたく思っております。1点だけお願いがございますが、筑北管内でいろんな動きがございますが、子どもたちに動揺が無いように、ぜひとも学校の先生方にはケアをお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

部会長：間違った情報が広がってしまいますと、多くの混乱が起りかねませんが、麻績村では先生方が子ども一人ひとりに親身になって相談に乗っていただいているおかげでそういったことは起こっておりません。無責任な噂が流れないのは、地域の方々や保護者の皆様の見

識によるものかと思いますが、先生方にはご苦勞をおかけしますが、よろしく願いいたします。それでは、閉会の挨拶をお願いします。

5 閉会

教育次長：長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございます。各学校へは連絡会の通知と資料をメールで送付させていただきますので、よろしく願いいたします。以上をもちまして、第3回保育園・学校部会を閉じさせていただきます。本日は、ありがとうございました。